

《短報》

フライトインターセプトトラップによるヤマトマダニの採集例

山内健生¹⁾・辻 雄介²⁾

¹⁾兵庫県立大学自然・環境科学研究所／兵庫県立人と自然の博物館, 〒669-1546

兵庫県三田市弥生が丘6丁目

²⁾〒742-0417 山口県岩国市周東町下久原 607-1-A102

はじめに

フライトインターセプトトラップ (FIT) は衝突板トラップとも呼ばれ, 飛翔昆虫が障害物にぶつかり落下する習性を利用したトラップである.

我々は, FIT によるマダニ採集例を初めて確認したので, 報告する.

採集記録

ヤマトマダニ *Ixodes ovatus* Neumann, 1899 (図1)

1♀, 山口県周南市八代 (標高 358m), 34.107894, 131.962725, FIT, 19. Jun. ~ 2. Jul. 2017, 辻 雄介採集

ヤマトマダニが採集された FIT は, A4 クリファイル2枚, 洋ラン線 (45 cm), トレー (25.5 × 34.5 × 8.5 cm), ホッチキスを使用して丸山式 FIT (丸山, 2003) を参考に作成したものである. トレー内の保存液には 10% 酢酸溶液に洗剤を加えたものを用いた. この FIT を, 2017 年 6 月 19 日に照葉樹林の林床に設置し (図2), 同年 7 月 2 日に回収した. FIT 回収時, このヤマトマダニは FIT の保存液の中に水没して既に死んでいた. この日は, 2017 年に入って 5 回目の回収日であり, この日の回収以外ではマダニ類は採集されていない.

ヤマトマダニは, 我が国では北海道, 本州, 四国, 九州, 屋久島に分布し (山口・北岡, 1980), 山口県でも既に記録がある (Inokuma *et al.*, 2002). 本種の幼若虫は穴居性の強い小型哺乳類に普通に見られ, 成虫は植生上などで待機し地上性の中・大型獣に寄生する (藤田ら, 1981). また, 本種は, 鳥類のヤマドリ *Syrnaticus soemmerringii* とシジュウカラ *Parus minor* からも採集されている (山内, 2001).

マダニ類は飛翔しないため, 今回採集されたヤマトマダニが衝突板部分にぶつかって保存液へ落下したとは考えにくい. おそらく, このヤマトマダニは, FIT の回収容器を登り保存液の中へ落下したか, あるい



図1. ヤマトマダニ *Ixodes ovatus* 雌成虫 (背面)



図2. 調査地の環境とフライトインターセプトトラップ (FIT)

は宿主動物の体上から落下したものと考えられる。

謝辞

本研究の一部は JSPS 科研費基盤研究 A (17H00807) の助成を受けて行われた。

引用文献

- 藤田博己・高橋 守・山本貞司・斉藤 貴・町田和彦 (1981) 埼玉県および群馬県における哺乳類と鳥類に寄生するマダニ類 1. 宿主関係, 地理的ならびに垂直分布, およびその医学的意義. 大原総合病院年報, **24**: 13-27.
- Inokuma, H., Fujimoto, T., Hosoi, E., Tanaka, S., Fujisaki, K., Okuda, M. and Onishi, T. (2002) Tick infestation of sika deer (*Cervus nippon*) in the western part of Yamaguchi Prefecture, Japan. *Journal of Veterinary Medical Science*, **64**: 615-617.
- 丸山宗利 (2003) 好蟻性・好白蟻性甲虫の採集法. 昆虫と自然, **38**(9): 43-47.
- 山口 昇・北岡茂男 (1980) マダニ科. pp. 144-161. In: 江原昭三 (編). 日本ダニ類図鑑. 全国農村教育協会, 東京.
- 山内健生 (2001) 日本産鳥類とマダニ類との宿主 - 寄生関係の文献的検索. ホンザキグリーン財団研究報告, **5**: 271-308.